

次年度以降の検討課題のまとめ（案）

課題 1. 科学的議論のための関連情報の収集等

（主な課題）

- 温泉に関するデータの収集が必要。
- 地熱構造モデルは温泉帯水層と地熱貯留層を一体で考える必要があるため、地下の構造や流体に関する関連学会間での協力が必要。
- 温泉の現状を把握するには、温泉データが継続して取られること、各地の温泉データ・源泉データの共有化が必要。

課題 2. 地域に応じた運用のあり方

（主な課題）

- 温泉法に関連する規制等の運用は都道府県の判断によることから、将来的には地域で、地域にあったガイドラインの作成が必要。

課題 3. 温泉資源の保護に関するガイドラインの合冊

（主な課題）

- 温泉帯水層と地熱貯留層は一体として考えるべきであり、ガイドラインは合冊とした方が良いのではないかと。